

令和2年度 第1回理事会
令和2年度 定時評議員会
書面決議 説明書

1. 令和2年度 第1回理事会、定時評議員会の書面議決について

評議員、理事、監事に議案として令和2年度評議員会資料を送付しますので、内容を確認いただき、5月31日までに添付の同意書に署名捺印の上、事務局まで返送願います。

2. 会長あいさつ

3. 議事録署名人選出

書面決議のため、理事会議事録は生島会長、定時評議員会は山口評議員会議長に願います。

2. 協議事項

(1) 令和元年度事業報告及び決算書類等承認の件

<事業報告書類>

○総務委員会

- 1) 各種会議は滞りなく終了したが、3月14日の第4回理事会は書面決議となった。
- 2) 健全な財政運営として、財政等検討会議を2回開催し、社会人4連盟の賦課金・助成金見直し協議を行い、新年度から見直しを決定した。
- 3) 倫理委員会案件が続いている。

○競技委員会

1) 委員会開催

- ・滞りなく委員会を開催することができた。

2) 大会運営報告

- ・9人制の大会で、以下の大会において参加チーム男女とも0であり、大会を開催することができなかった。ここ数年の傾向である。

全日本9人制バレーボール実業団 全日本9人制バレーボールクラブカップ

全日本9人制バレーボール総合 北海道9人制バレーボール総合大会

- ・新型コロナウイルス感染拡大により、6人制総合大会北北海道大会は中止となった。

3) 令和元年度の取組の結果

- ・①～⑦の項目について、取組の結果を記載した。

○審判委員会

2. 審判員指導育成事業において

○JVIMS テクニカルスーパーバイザークリニック6名参加

ワールドカップや北海道で開催されるV2・V3リーグへの準備として多くのメンバーに参加してもらった。今後、さらに大会が増えるため、JVIMSのメンバー育成が急務である。

○アジアバレーボール連盟

正岡 卓氏 2019 Asian Refereeing Candidate Course を台湾で受講後、アジアバレーボール協会国際審判員候補に認定されました。

○日本協会カテゴリーレフェリー研修 随時

N1 嶋貫氏→全日本総合の最終日・全日本9人制バレーボールトップリーグの審判員

N2 唯野氏→9人制におけるトップレベルの審判員

S1 小瀧氏、佐藤美里氏→天皇杯ファイナル・黒鷲旗・Vレフェリーとして派遣。

S2 大塚氏→天皇杯ブロック・全日本インカレ・Vレフェリーとして派遣。

S3 6名の方々→Vレフェリーとして派遣される。

○地区協会審判講習会・・・22地区協会で開催（合同開催を含む）

滝川・東空知地区協会未実施（滝川協会とはまったく連絡が取れない状態）

○レフェリーキャンプ

6人制

毎年実施していたサマーキャンプは、ニセコカップが廃止されたため中止した。

令和2年度はそれに替わるものがあれば実施したい考え。

○強化委員会

資料の通り

○指導普及委員会

資料の通り

<決算報告書類>

○一般会計決算報告書

・平成30年度からの繰越金1,715,624円で前年比73万円増だった

・収入は、ほぼ予算通りの収入があり、大会参加料で105千円、登録料で113千円、MRS配賦金で312千円など収入増となり、予算比183万円増の1933万円の決算となった

・支出はほぼ予算通りの執行となったが、コピー機の更新で印刷製本を自前で行ったことなどで245千円減、会議費で新旧交流会を個人負担いただいた事などで131千円減、日協関係旅費の早割活用で310千円減など、経費の節減に努め、残高が前年比73万円増の245万円と見込みとなったため、その内130万円を財政調整基金へ繰出した、その結果1,154,636円の残高となり、同額を令和2年度に繰越す

○特別会計決算報告書

・1 財政調整基金は、一般会計から130万円繰入れ、1150万円の繰越し

・2 特別事業等基金は、ワールドカップ貸付金500万円が還付され、1510万円の繰越し

・3 強化・育成基金は、今年度で繰越金が底をつく所だったが、一昨年の世界選手権で116万円、昨年のワールドカップで500万円の繰入れがあり、5つの事業に計340万円支出し、519万円の繰越し

・4 チャレンジ・ファンドは、昨年100万円の篤志寄付で新たに創設し、60万円の繰越し

○2019 ワールドカップ女子札幌大会決算書

・先行販売分取扱手数料145万円、分配金558万円等の収入があり、残額5,129,167円、内500万円を強化・育成基金に、残りを一般会計に繰入れ

○監査報告書

記載の通り

(2) 北海道バレーボール協会規約の一部改正について

提案理由～現規約には、会議の決議に書面決議の規定が無いため、第 13 章補則に追加するもので、規約改正案を評議員会に諮る。

規約改正の議決が現行規約にない書面決議でのお願いになりますが、特段のご理解願います。

(3) 役員改選について

提案理由～前監事 川村俊明氏御逝去に伴う、役員の補欠の候補者として、須田正毅氏（岩見沢協会）を推薦し、評議員会に諮る。

5. 報告事項

(1) 令和 2 年度事業計画及び予算

令和元年度第 4 回理事会（3 月 14 日書面決議）議案を参照願います。

(2) 財政調整基金の使用について（理事会議決事項、評議員会報告事項）

提案理由～一般会計で年度はじめの支出が年度末に収入となるなど、資金運用に支障が生じるおそれがあるため、財政調整基金を一時借入れ運用したいが、当基金規程で、基金の使用については、理事会の決議を経なければならないとなっていることから、限度額を 500 万円とし、年度末までに全額繰り戻すことと併せて、理事会に諮る。

(3) 北海道バレーボール協会チャレンジ・ファンド運用報告について

提案理由～上記ファンドの基金は、運用について、寄付者、理事会、評議員会に報告することとなっていることから、理事会、評議員会に報告する。

6. その他

・JVA-MRS 個人登録のお願いについて、中学校・高校チーム代表者等に一斉配信し、道協会HPにも掲載をしましたが、学校の休校が続き部活動も始まっていないこともありますので、学校が再開し体制が整ってから登録することをお願いします。

7. 閉 会

議事録署名人 会 長

生島典明 

議事録署名人 議 長

山口隆義 